

動薬協会発 276号

平成25年1月11日

社団法人日本動物用医薬品協会

会 員 各 位

社団法人 日本動物用医薬品協会

理事長 福 井 邦 顯

( 公 印 省 略 )

中国における口蹄疫の発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

当協会の業務運営につきましては、日頃からご支援、ご協力を頂きお礼申し上げます。  
さて、標記のことについて、農林水産省消費・安全局動物衛生課長より通知がありましたのでお知らせします。



24消安第4830号  
平成25年1月9日

社団法人 日本動物用医薬品協会理事長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

中国における口蹄疫の発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

このことについて、別添のとおり各都道府県畜産主務部長宛て通知しましたので、御了知の上、円滑な防疫対策の実施につき御協力方お願いいたします。



写

24消安第4830号  
平成25年1月9日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

中国における口蹄疫の発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

口蹄疫に係る防疫対策については、これまで、口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針（平成23年10月1日農林水産大臣公表）及び「年末・年始及び春節における口蹄疫に関する防疫対策の強化について」（平成24年12月7日付け24消安第4098号農林水産省消費・安全局長通知。以下「強化通知」という。）により飼養衛生管理基準の遵守状況の確認や畜産関係者等への注意喚起の徹底等をお願いしてきたところです。

さて、本年1月7日付けで、中国政府から国際獣疫事務局（OIE）に対し、四川省広元市で口蹄疫（O型）の発生が確認された旨の通報がありました。中国では、予防的なワクチン接種を含めた防疫措置が講じられているところですが、昨年9月にはチベット自治区で、11月には遼寧省大連市で、12月には江蘇省で口蹄疫（O型）の発生が確認されるなど、発生が継続しており、中国国内において口蹄疫ウイルスが広くまん延していることが考えられます。

これから春節を迎え、中国における人・物の移動が盛んになり、それに伴い、我が国への口蹄疫ウイルスの侵入リスクが高まることが危惧され、動物検疫所では関係機関との連携の下で水際対策を強化しているところです。

つきましては、既に本病の防疫対策を強化しているところと思いますが、強化通知に基づき、口蹄疫の発生予防措置の徹底及び監視体制の強化について再度御確認いただき、万全を期するようお願いいたします。

なお、今後も海外における口蹄疫等家畜伝染病の発生状況等の必要な情報を当省ホームページ等を通じて積極的に公表してまいりますので、防疫体制の更なる充実のために、適切に御対応願います。

<農林水産省ホームページ：口蹄疫に関する情報>

URL：[http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_fmd/index.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html)

## 中国における口蹄疫（O型）の発生について

2013年1月9日  
動物衛生課

中国四川省（しせんしょう）広元市（こうげんし）経済発展区における口蹄疫（O型）の発生について、2013年1月7日付けで①OIEへの通報及び②中華人民共和国農業部の情報公開がありましたのでお知らせします。

### ① OIE通報情報

出典：OIEウェブサイト

[http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page\\_refer=MapFullEventReport&reportid=12846](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page_refer=MapFullEventReport&reportid=12846)

#### 【概要】

- ・発生数：1件（続報7※）
- ・発生日：2013年1月4日
- ・確定日：2013年1月7日
- ・OIEへの報告日：2013年1月7日
- ・血清型：O型

※ 初発：2012年2月19日 寧夏回族自治区  
続報1：新たな発生報告なし  
続報2：2012年9月6日 チベット自治区  
続報3：2012年11月19日 遼寧省大連市  
続報4：2012年12月12日 江蘇省常州市  
続報5及び6：新たな発生報告なし

#### 【発生状況】

- ・発生場所：中国四川省広元市経済発展区の村

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	124	30	0	124	0

#### 【診断】

- ・赤血球凝集阻止試験：陽性
- ・サンドウィッチELISA：陽性
- ・RT-PCR：陽性

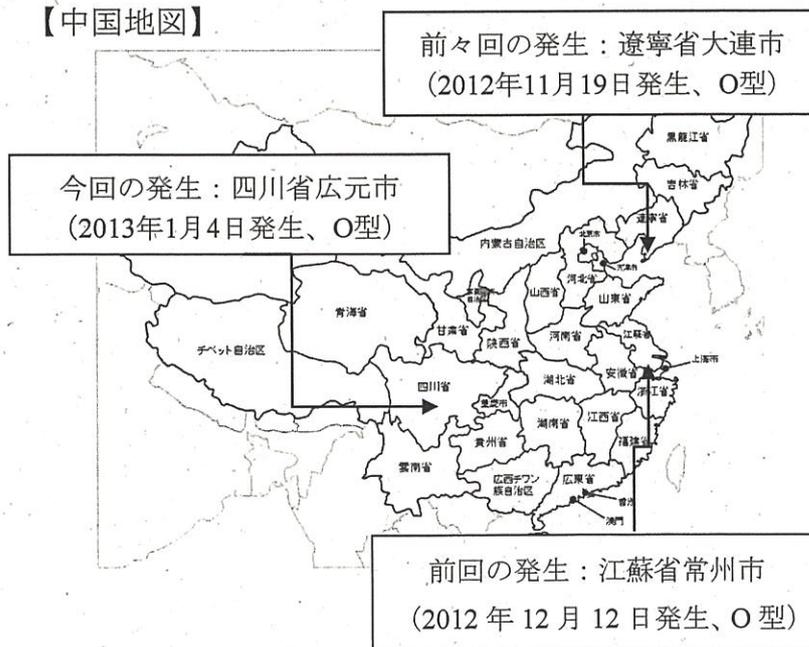
#### 【感染源】

- ・不明又は調査中

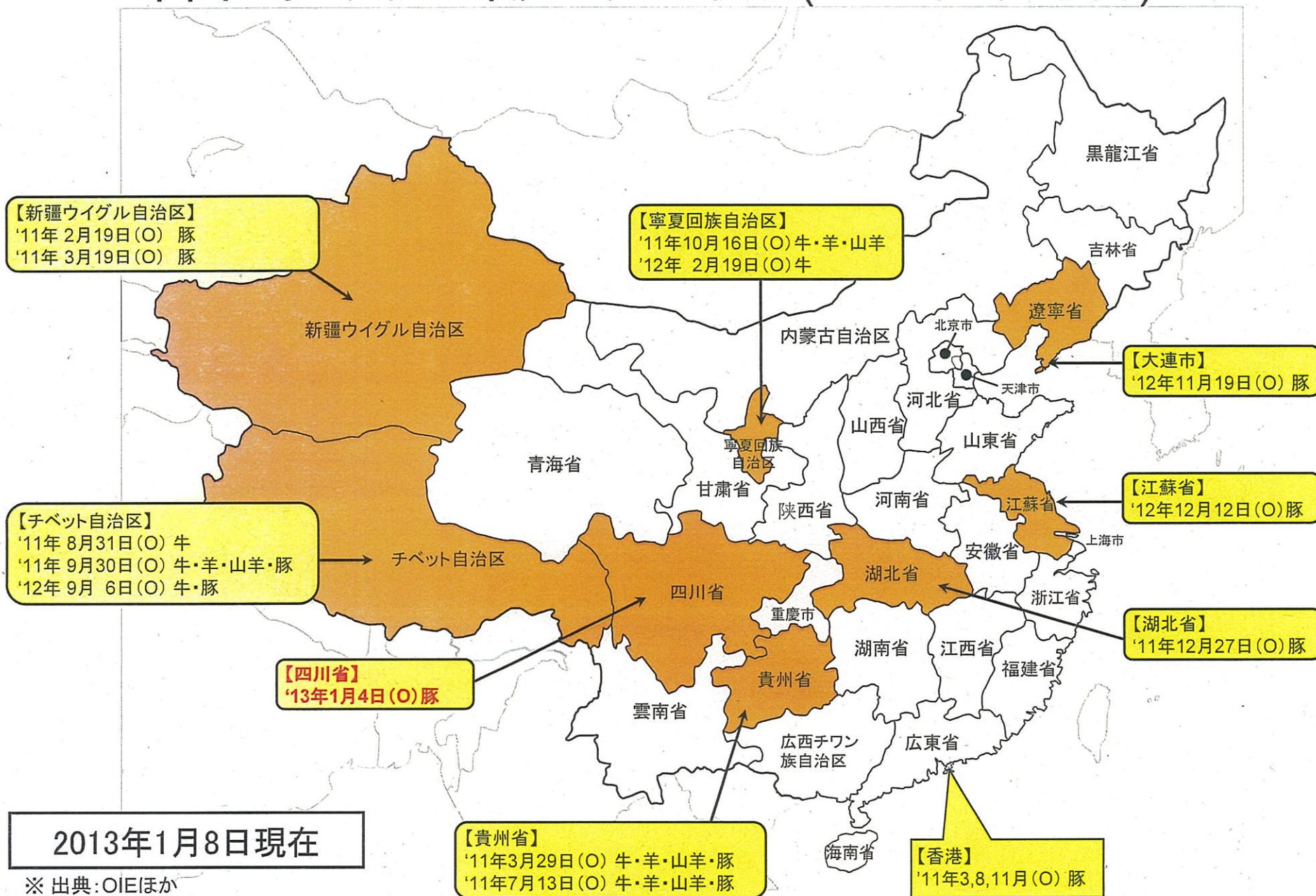
#### 【対応】

- ・淘汰／隔離／移動制限
- ・スクリーニング／ゾーニング
- ・施設等の消毒
- ・患畜を治療対象としない
- ・ワクチン接種実施

#### 【中国地図】

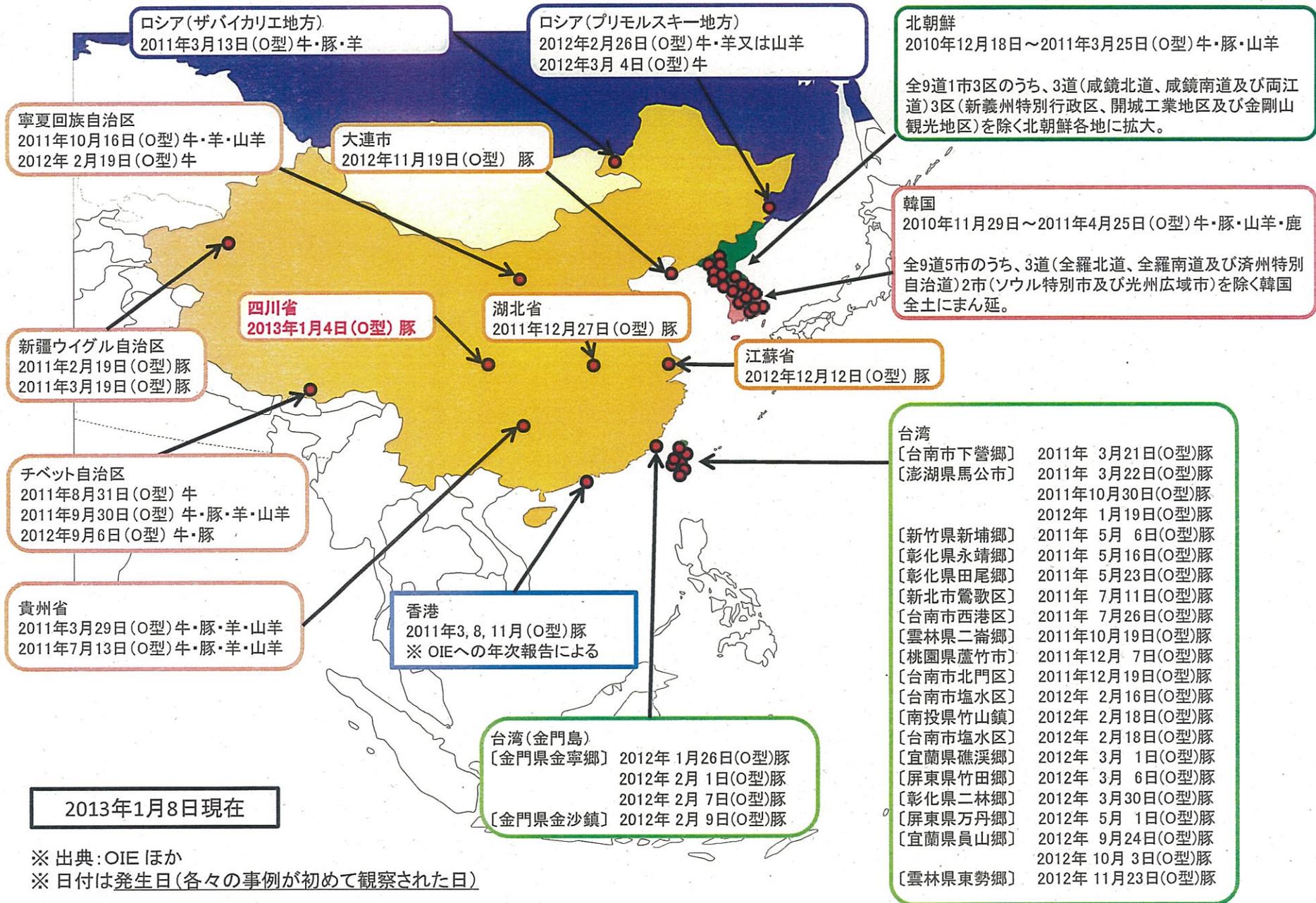


# 中国における口蹄疫の発生状況(2011年1月以降)



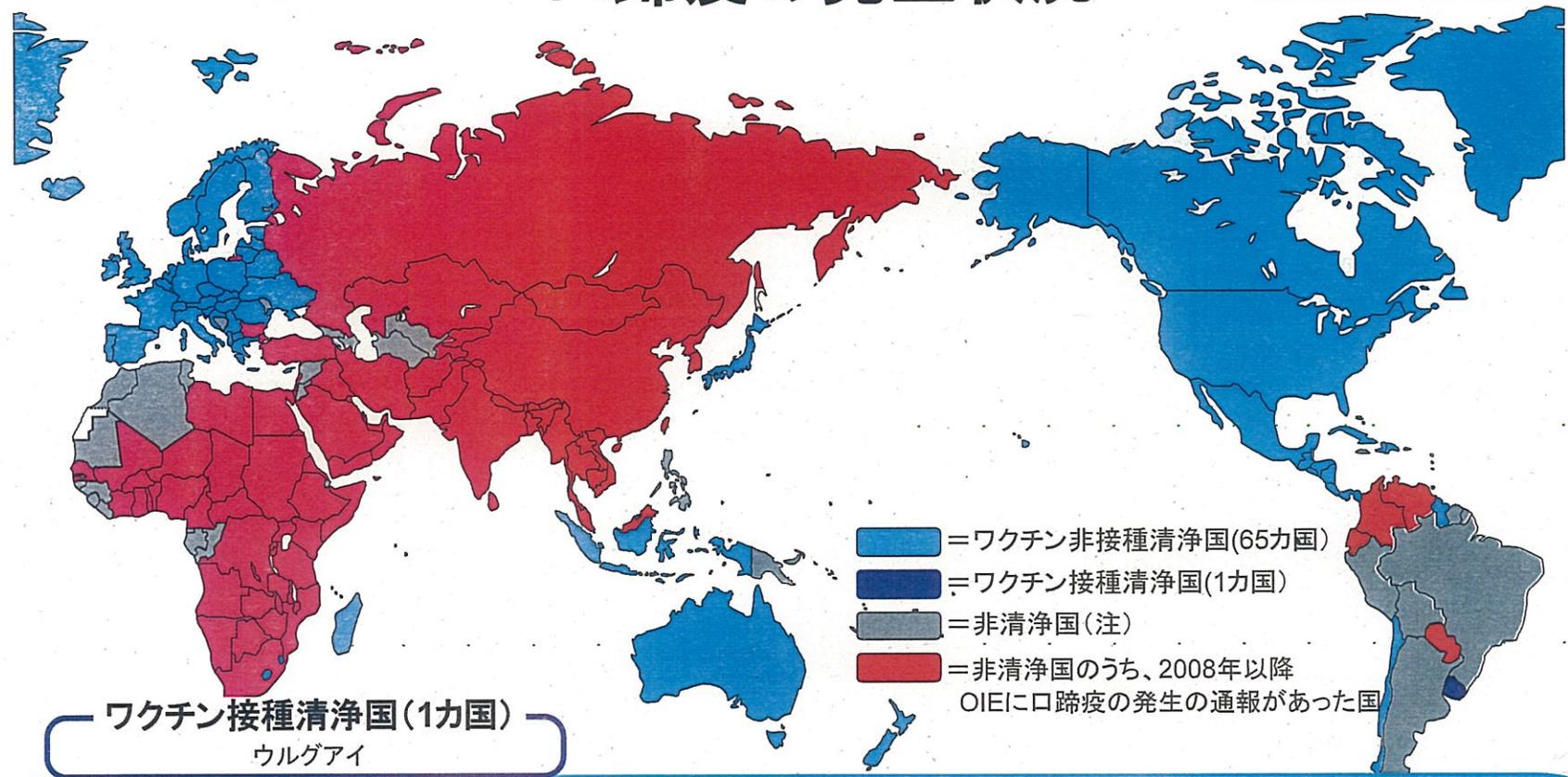
※ 出典: OIEほか  
 ※ 日付は発生日

# 中国、香港、台湾、韓国、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2011年1月以降の発生）



# 口蹄疫の発生状況

2013年1月8日現在



- = ワクチン非接種清浄国(65カ国)
- = ワクチン接種清浄国(1カ国)
- = 非清浄国(注)
- = 非清浄国のうち、2008年以降 OIEに口蹄疫の発生の通報があった国

**ワクチン接種清浄国(1カ国)**  
ウルグアイ

## ワクチン非接種清浄国 (65カ国)

### ～ヨーロッパ(38カ国)～

- |          |        |         |       |
|----------|--------|---------|-------|
| アルバニア    | チェコ    | ハンガリー   | オランダ  |
| オーストリア   | デンマーク  | アイスランド  | ノルウェー |
| ベラルーシ    | エストニア  | アイルランド  | ポーランド |
| ベルギー     | フィンランド | イタリア    | ポルトガル |
| クロアチア    | マケドニア  | ラトビア    | ルーマニア |
| キプロス     | フランス   | リトアニア   | スロバキア |
| 英国       | ドイツ    | ルクセンブルク | スロベニア |
| サンマリノ共和国 | ギリシャ   | マルタ     | スペイン  |

- スウェーデン
- セルビア
- モンテネグロ
- ボスニア・ヘルツェゴビナ
- スイス
- ウクライナ

### ～アジア(4カ国)～

- 日本
- インドネシア
- シンガポール
- ブルネイ

### ～オセアニア(4カ国)～

- オーストラリア
  - ニューカレドニア
  - ニュージーランド
  - バヌアツ
- ～アフリカ(4カ国)～
- スワジランド
  - マダガスカル
  - モーリシャス
  - レソト王国

### ～南北アメリカ(15カ国)～

- カナダ
- チリ
- コスタリカ
- キューバ
- エルサルバドル
- グアテマラ
- ガイアナ
- ホンジュラス
- ニカラグア
- パナマ
- 米国
- ベリーズ
- ドミニカ共和国
- ハイチ
- メキシコ

注: 上記 非清浄国には、その一部にOIEが公式認定するワクチン非接種清浄地域/ワクチン接種清浄地域を含んでいる国を含む。  
(なお、フィリピンは5つのワクチン非接種清浄地域により、アルゼンチンは、1つのワクチン非接種清浄地域と2つのワクチン接種清浄地域により、全土がカバーされている。)

※ 出典: OIE(清浄国はOIE公式認定)